

【概要】2023 年度活動報告

一般社団法人 全日本知的障がい者スポーツ協会

【2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日】

【月次報告】

月	内容
4 月	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍における全国障がい者スポーツ大会に関する全ブロックなどの調整・ 研究助成金の打ち合わせ (4 月 20 日) 斎藤・谷口・宮崎・ 研究調査事業の打ち合わせ (4 月 25 日) 茶の花様・ 決算資料などの打ち合わせ (4 月 25 日) 監事 (ベンチャー支援税理士法人)・ Virtus アジア・オセアニア会議 (4 月 27 日: 斎藤・谷口) ※ZOOM 会議・ 国会議員へのレクチャー (4 月 27 日) 野田聖子・三原じゅん子議員・ 新規営業先への表敬 (4 月 28 日) 住協様
5 月	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍における全国障がい者スポーツ大会に関する全ブロックなどの調整・ 主要支援企業様への協力依頼多数・ ビシー大会に関する打ち合わせ (5 月 15 日) JPC ※ZOOM 会議・ ベンチャー支援税理法人 (監事) 様との定例 MTG (5 月 22 日)・ ビシー大会に関する打ち合わせ (5 月 23 日) JPC ※ZOOM 会議・ Virtus アジア・オセアニア会議 (5 月 25 日: 斎藤・谷口) ※ZOOM 会議
6 月	<ul style="list-style-type: none">・ 全国障がい者スポーツ大会に関する全ブロックなどの調整・ ビシー大会派遣 (6 月 1 日～8 日) 斎藤・杉 (※谷口は別途会議出席)・ 主要支援企業様への協力依頼・ ID 卓球様の国内大会視察 (6 月 17 日) @横浜武道館・ 社員総会・第 1 回理事会 (6 月 17 日)・ Virtus 本部理事会総会の打ち合わせ (6 月 20 日) 東品川ホテル・ 調査・研究 (6 月 29 日～30 日) @沖縄
7 月	<ul style="list-style-type: none">・ 営業活動 ・ 事務処理・ ID バドミントン様の国内大会視察 (7 月 1 日) @清水・ ビシー大会の反省会 (7 月 4 日) @JPC (仲前様)・ 乃村工藝社様へ表敬訪問 (7 月 4 日) @お台場・ パレンテ様での講演 (7 月 6 日) @水天宮・ ぜんち共済様へ表敬訪問 (7 月 7 日) @九段下・ アート引越しセンター様へ表敬訪問 (7 月 11 日) @大阪・ 南桜塚小学校様へ表敬訪問 (7 月 11 日) @大阪・ DENSO 様へ表敬訪問 (7 月 13 日) @刈谷・ 調査・研究 (7 月 22 日～23 日) @北海道 (旭川)・ スポーツ庁様と打ち合わせ (7 月 25 日) @スポーツ庁・ 調査・研究 (7 月 27 日～28 日) @福岡

8月	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動 ・事務処理 ・のぞみの園様との打ち合わせ (8月1日) @高崎 ・調査・研究 (8月7日～8日) @熊本 ・パレンテ様と打ち合わせ (8月9日) @日本橋 ・茶の花様と打ち合わせ (8月10日) @入間 ・マズリー保育園様と打ち合わせ (8月14日) @江戸川区 ・のぞみの園様との打ち合わせ (8月21日) ※ZOOM 会議 ・松の花様と打ち合わせ (8月22日) @中央区 ・調査・研究の打ち合わせ (8月24日) 斎藤・谷口・宮崎 ※ZOOM 会議 ・英国派遣 (8月26日～31日) @英国 斎藤・谷口・宮崎
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・デンマーク派遣 (9月4日～9日) @デンマーク 斎藤・杉 ・DENSO 様の表敬訪問 (9月12日) @刈谷 ・ID フットソフトボール様の国内大会視察 (9月16日～17日) @山口 ・ファンケル様へ表敬訪問 (9月19日) @横浜 ・全空連様へ表敬訪問 (9月19日) @辰巳 ・第2回理事会開催 (9月23日)
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動 ・事務処理 ・全スポの JKA 処理各種 ・ID 水泳様の国内大会視察 (10月1日) @新座 ・Virtus 本部理事会総会の打ち合わせ (10月10日) 東品川ホテル ・ぜんち共済様と打ち合わせ (10月12日) ※ZOOM 会議 ・JPSA 様と打ち合わせ (10月20日) @水天宮
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・Virtus 本部理事会総会 (11月2日～5日) @東品川 ・ID 柔道様の国内大会視察 (11月11日) @日本文化大学 ・ID バスケットボール様と打ち合わせ (11月14日) @水道橋 (日大) ・パレンテ様と打ち合わせ (11月24日) @日本橋 ・アンバサダー小沼様と打ち合わせ (11月28日) @静岡
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ID バスケットボール様の祝勝会 (12月17日) @横浜 ・韓国との打ち合わせ (12月19日～20日) @ソウル ・第3回理事会開催 (12月23日) ・各支援企業様への年末報告
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回インクルーシブ大会視察 (1月6日) @三鷹 ・日本財団様と打ち合わせ (1月11日) 今野様 ※ZOOM 会議 ・ID サッカー-連盟様と打ち合わせ (1月12日) 木村様他 ※ZOOM 会議 ・エスプールプラス様と打ち合わせ (1月16日) @秋葉原 ・パレンテ様と打ち合わせ (1月18日) @日本橋 ・韓国派遣団 (KAIDD 様) のアテンド (1月20日～22日) @静岡・平塚 ・DENSO 様・三晃社様への表敬訪問 (1月24日) @刈谷・名古屋 ・パレンテ様と打ち合わせ (1月25日) @日本橋 ・全国障がい者スポーツ大会関東ブロック全体会議 (1月25日) ※ZOOM 会議

	<ul style="list-style-type: none"> ・全育連様のアテンド（1月26日） @松山 ・スポーツ庁との打ち合わせ（1月29日）佐々木室長 ※ZOOM 会議 ・茶の花様との打ち合わせ（1月30日）@入間
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動 ・国庫補助金清算処理 ・スポーツ庁との打ち合わせ（2月5日）佐々木室長 ※ZOOM 会議 ・パレンテ様と打ち合わせ（2月5日）@日本橋 ・Tポイント様との打ち合わせ（2月15日） ※ZOOM 会議 ・ベネッセ様との打ち合わせ（2月16日） ※ZOOM 会議 ・論文の打ち合わせ（2月18日）斎藤・宮崎 @中央大学（水道橋） ・インクルーシブ大会組織委員会と打ち合わせ（2月19日）斎藤・井上・竹下 ※ZOOM 会議 ・SON バスケットボールと打ち合わせ（2月19日）斎藤・一松・内藤 ※ZOOM 会議 ・韓国との打ち合わせ（2月20日～23日）@ソウル ・JPSA 在り方検討委員会（2月20日） ※ZOOM 会議 ・Hamonz 様と打ち合わせ（2月27日） ※ZOOM 会議 ・ID 乗馬協会様と打ち合わせ（2月28日）@新橋 ・永谷園 HD 様と打ち合わせ（2月28日）@新橋 ・武蔵野東学園様と打ち合わせ（2月29日）@三鷹
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・JPSA 会議（3月8日） ※ZOOM 会議 ・ボストン東様と打ち合わせ（3月11日） ※ZOOM 会議 ・パレンテ様と打ち合わせ（3月12日）@日本橋 ・乃村工藝社様と打ち合わせ（3月15日）@お台場 ・第4回理事会開催（3月23日） ・TV出演（アンバサダー（古賀様））（3月26日～27日） @福岡 ・新規スポンサーへの働きかけ ・年度末事務処理

【令和5年（2023年度）度活動概要】

令和5年度（2023年度）は、大きく3本の柱を中心に事業を行うことが出来た。

まず1つ目の柱は、「**ヴィシー2023 グローバルゲームズ（以下、2023GG大会）**」の派遣（事業）である。今回の2023GG大会は、日本から6競技団体が参加し、選手46名、競技団体スタッフ16名、本部スタッフ12名、および支援スタッフ16名を派遣する事が出来、合計90名で臨んだ。また、移動（フランス国内）などで、精神的にも肉体的にも、不安要素はあったが、結果として、それらの不安を吹き飛ばす活躍をして頂き、金メダル12個（9）、銀メダル13個（12）、銅メダル12個（15）、合計37個（36）と、前回大会（ ）をメダル総数で抜くだけでなく、金メダル数も3個増やすことが出来た。更に、陸上競技や水泳をはじめ数々の世界新記録（更新も含む）を樹立し、女子バスケットボール（3×3）は、2大会連続で優勝をするなど、大活躍の大会となった。何より、日本選手団としては、少しずつではあるが、ダウン症アスリートの派遣も可能となり（今回は、陸上競技と水泳の女子選手各2名）、同団としての層の厚さも大きく飛躍出来ているのではないかと思う。

次の柱は、知的障害児者に関わる調査・研究の実施である。まず、一つ目の調査は、『**分離教育における日本の進むべき方向性の検討**』～英国SENに学ぶ～である。

具体的には、先ず、日本国内4か所（沖縄、名古屋、旭川、福岡）においてタウンミーティングを実施し、「当事者・特別支援学校教諭（元も含む）・保護者・有識者」等から、同問題における現状や課題に関して率直な意見交換を行った。その結果、分離教育を積極的に否定する事例がどの地域からも認められず、むしろ現在の特別支援学校を中心とした具体個別の支援プログラムは、一定の理解と支持を得ていることが明らかとなった。

次に本調査の中心（助成金事業）である、英国において、この問題に対して、どのように考え、また、どのような課題があるかを日本との比較等も含め調査し、次の通り多くの知見を得ることができた。

英国では1970年に制定された法律の下、今日に至るまで国を挙げて“インクルーシブ教育”の重要性に注視してきたが、近年、保護者や当事者のニーズは、SEN（特別支援学校）への入学を希望し、メインストリームスクール（通常学校）での統合教育では、その対応に十分な支援と必要な時間や人を確保することが困難になっているという。

このように現地で、ヒヤリングを進めて行く内に、英国では、日本の特別支援学校に相当する教育システムが結果的に当事者の利益につながっており、このことは、現在の日本のシステムに新たな判断もしくは選択を迫られているものとして痛感させられた。

また、もう一つの調査・研究は、『**デンマークにおける知的障がい者のスポーツ環境の調査と日本との相違点について**』である。

競技性の高い知的障がい者スポーツと日常行われる知的障がい者スポーツの環境について、関係する団体等を訪問し、日本との相違点を明らかにし、今後、日本にて活用できる新たな視点を探る事を目的とした。訪問前には、福祉国家として知られている「デンマーク」は、基本的に日本より様々な面で進んでいるという前提で、ほとんどの場合において参考になることがあるのではないかと考えていた。しかし、結果的には、そのようなところも勿論あるが、一方で、日本のシステムも逆にデンマークが抱える問題や課題に関して、お手本になる部分も散見され、まさに、タイトル（派遣趣旨）通り、両国の相違点を明ら

かにできたのではないかと思う。

3つ目の柱は、韓国との連携強化である。これまで、コロナの影響もあり**日韓交流プログラム**を実施することは出来なかったが、2023年度（令和5年度）に、十分な打ち合わせが出来、2024年度（令和6年度）には、第4回日韓交流プログラムとして、I Dフットサルの派遣（2024年9月）が決定した。また他方、ANISA加盟団体でもある「全国手をつなぐ育成会連合会」様に関しても、韓国の大きな組織と新たな協定結ぶ為のご支援が出来、大変満足を得た。今後、ANISAとしても、韓国のみならず、極東アジアを中心に国際的な連携強化に努めていきたいと考える。

最後に、国内的には加盟団体との更なる連携強化を引き続き推し進め、相互に情報の共有を活発に出来る様、コミュニケーションを図りたいと考える。